

ACL

Version 9.1 Highlights



ACLはさらに監査の生産性を高めます

ACL 9.1 は監査の効率、適用範囲、および全体的な生産性を大いに高めます。ACL 9.1 では、企業情報の配布に最も広く使用されている形式のひとつであるPDF データのインポート機能が可能になりました。また、最新版の Microsoft ExcelとAccess (2007) もサポートしています。

より幅広い取引データの監査適用範囲を実現

ACL 9.1	利点
データ定義ウィザードおよびACLスクリプト内でのIMPORT PDFコマンド使用によるPDFドキュメントのインポート	<ul style="list-style-type: none"> * より幅広い監査適用範囲を実現 * 生産性を向上 * PDFレポートの正確性を保証 * データ範囲の拡大
データ定義ウィザードおよびACLスクリプト内でのIMPORT EXCELコマンド使用によるMicrosoft Excel 2007スプレッドシートの自動インポート	<ul style="list-style-type: none"> * EXCELデータソースへの迅速で効率のよいアクセス * スクリプトによるインポートの繰り返し実行が可能で生産性が改善
データ定義ウィザードおよびACLスクリプト内でのIMPORT ACCESSコマンド使用によるMicrosoft Access 2007データベースの自動インポート	<ul style="list-style-type: none"> * ACCESSデータソースへの迅速で効率のよいアクセス * スクリプトによるインポートの繰り返し実行が可能で生産性が改善

ACL 9.1では、監査人はPDF形式のデータをアクセスして分析することにより、取扱いデータの範囲を拡大し、監査適用範囲の幅を広げることができます。また、ソースデータとPDFデータの比較分析によりPDFレポートの正確性を保証することができます。

- PDFファイルが監査分析に利用可能な唯一のデータ形式であることがよくあります。時としてソースデータにアクセスできず、PDFファイルが唯一の情報源である場合があり、有効な情報の一つとして取扱うことができます。
- PDFインポートはソースデータと比べた時にPDFデータの正確性を検証することができます。PDFレポートをソースデータと比較することにより、ビジネスコントロールにおける欠陥や弱点になりうる例外、矛盾、誤り、そして不正などを発見することができます。
- PDFのインポートはPDFファイルに設定されたセキュリティを考慮し、設定されたパスワードの入力により、PDFファイルへのアクセスを許可します。



* ACLがインポートできるのは PDFテキストのみです。スキャンされたものやイメージPDFファイルはインポート前にOCRユーティリティを使用してテキストファイルに変換が必要です。